

«「あんしんドライブ宣言」企画»
 サポカー乗り換えの促進により交通事故死の減少を目指す

近年、自動車の安全性能向上により、交通事故死は減少傾向にあります。しかし2019年、道内では4年ぶりに増加に転じてしまいました。また、内訳を見ると、高齢運転者が第一当事者となる交通事故死の割合が増えています。そんな中、政府は2019年度補正予算に総額約1,127億円の「サポカー補助金」を設定し、高齢運転者の事故防止に有効なサポカーへの乗り換えを促進しています。

そこで、北海道新聞社では(一社)日本自動車販売協会連合会 札幌支部と連携し、地元ディーラーとともにサポカー補助金を契機とした読者の交通安全意識を高める企画をスタートしました。

昨今では、高齢運転者による免許返納という選択も増えていますが、公共交通機関が不十分な地域では難しい状況も存在します。そんな中、本企画では、**交通事故防止に関わる情報の提供や、サポカーの機能紹介、補助金の解説など**によりサポカーへの乗り換えを促進し、高齢者を中心としたドライバーのより安心安全な運転の推進を目指しています。

参加ディーラーからは「サポカー補助金は分かりにくく、内容も申請方法も浸透していない。整理された広告は営業活動にも使える」「新聞読者層とマッチしていて良い」「交通事故死の減少という社会的意義があり大いに賛同できる」などの反響の声をいただいています。

本企画は2020年9月まで継続し、
今後は「交通安全セミナー」や「サ
ポーター体験試乗会」なども開催する
予定です。

(本社営業局 北川 敬彬)

POINT!

* 制度やキャンペーンを、北海道新聞社の記事体広告で詳しく・分かりやすく発信することが可能です。

◆お問い合わせ／北海道新聞社営業局（TEL011-210-5713）または 各支社営業部へ（2020.4）

[illegible][illegible]